

## 学生とシニアの原子力施設見学会イン関東地区大学 2018 報告書

(報告者)大塔容弘

### 1. 日時：平成 30 年 11 月 10 日(土)

- 10:40 柏崎駅集合
- 10:40-11:40 移動、入構手続き
- 11:40-12:30 kk 概要説明、展示館見学
- 12:30-13:00 (昼食)
- 13:00-15:30 発電所見学
- 15:30-17:20 対話会(含質疑応答)(学生、東電、シニア)
- 17:20-18:00 柏崎駅移動・解散

### 2. 場所：東京電力 柏崎刈羽原子力発電所

### 3. 参加者：

(学生) 東京工業大学…男子 5 名、女子 1 名

青山学院大学…男子 4 名

東京女子大学…女子 3 名

東京大学…男子 1 名

東京都市大学…男子 1 名

駒沢大学…男子 1 名

茨城大学…男子 1 名

浪人生…男子 1 名

(シニア) 大野 崇(世話役)、早瀬佑一、岡本弘信、宮川俊晴、大塔容弘

### 4. 概要説明：



サービスホールにて、柏崎刈羽原子力発電所広報部小池広行部長から柏崎刈羽原子力発電所の現況について概要説明を受けた。小池部長は、福島での勤務経験が長く事故対応ではご苦労された由。

概要説明は、以下の3部構成となっている。

- I 日本のエネルギー事情について—なぜ、原子力？資源のない技術立国日本—
- II 柏崎刈羽原子力発電所の概要（歴史）
- III 福島第一原発の事故及び新規規制基準を踏まえた安全対策について

- I. 日本のエネルギー事情について—なぜ、原子力？資源のない技術立国日本—
  - ◇ 日本の1次エネルギー自給率は、OECD諸国内で34位の僅か8.4%である。
  - ◇ 2011年以降、原発の停止に伴う化石燃料輸入増大や再エネFIT政策を受け、電気料金は一般家庭向けで約20%、産業向けで約30%上昇している。
  - ◇ 発電電力量の推移を見てみると、石油危機などの、世の中の変化に伴い発電源の構成比も変化している。
  - ◇ エネルギー資源の特徴から供給安定性、経済性、環境特性を考慮して、電力需要に応じた最適な電源の組み合わせ（ベストミックス）が重要である。
  - ◇ 現代中国は高度成長時代の日本が経験した大気汚染問題に直面している。今や日本や世界は地球環境問題を真剣に考える時代に突入した。日本は、時の民主党の鳩山首相が2009年9月に国連で演説し、25%削減と発展途上国への資金・技術支援でイニシアチブをとることを表明し、また、2010年6月閣議決定された『第三次エネルギー基本計画』では2030年までに14基の原発新設を掲げた。事故後、原子力は漂流しており、『第五次エネルギー基本計画』では原発新設の記載が見送られている。
  - ◇ 日本の中東依存石油の過去の状況と今後のコスト変遷、中東産油現状から、中東石油に依存する日本のエネルギー安全保障の脆弱性は変わらない。
  - ◇ 平成30年7月に発表された『長期エネルギー需給見通し』の電源構成の中で22～24%を占める再生可能エネルギーにも課題があり、エネルギー政策の視点である3E+Sのどれを重視するかは時代背景により変化する。
- II. 柏崎刈羽原子力発電所の概要（歴史）
  - ◇ 敷地面積は約420haで、内柏崎市が約310ha（1号機～4号機）、刈羽村が約110ha（5号機～7号機）である。
  - ◇ この地域は明治中頃から石油掘削を行っており、日本石油の本社もこの地域にあった。石油生産のピークは昭和5年で、昭和48年に最後の油田が閉山した。
  - ◇ 理化学研究所の所長を務めたこともある大河内正敏は、エンジンの性能を高めるピストンリングの向上を柏崎に建てた（理化学興業（株）、後の理研ピストンリング工業（株））。日本興業銀行出身の松根宗一は、理研ピストンリング工業会長に就任すると同時に東電顧問となり、その後原子力産業会議副会長、電気事業連合会副会長を務めることになるが、この松井宗一が柏崎刈羽に原発立地となった中心人物である。

- ◇ 昭和 60 年 9 月に 1 号機の営業運転開始、次の営業運転開始の号機は平成 2 年 4 月の 5 号機であった。その理由は、5 号機が設置される刈羽村の要望に応じた結果と  
の話であった。
- ◇ BWR 型原発の開発の流れに沿い、1 号機は Mark-II、2～5 号機は Mark-II 改、6 号  
機と 7 号機は ABWR である。
- ◇ 100 万 kW の発電所を 1 年間運転するために必要な燃料の重量、原発の安全確保の考え  
方、原発の「止める」「冷やす」「閉じ込める」機能の解説を行い、現場見学時に  
必要な基礎知識を学習した。

### III. 福島第一原発の事故及び新規制基準を踏まえた安全対策について

- ◇ 2011 年東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所の津波被害の状況、策定された  
新規制基準の概要の解説がなされた。
- ◇ 津波対策として海拔 15m のコンクリート製防潮堤(1 号機～4 号機)と盛土方式の防  
潮堤(5 号機～7 号機)を実施した。なお、想定最大津波高さは 6.8m と評価してい  
る。
- ◇ 更なる浸水対策として、防潮壁、防潮版、水密扉も採用している。
- ◇ 緊急時の電源確保策として、構内にガスタービン発電機車、高圧電源車を配置し  
ている。
- ◇ 淡水の水源確保策として、2 本の井戸を掘削、淡水貯水池を設置した。
- ◇ 多数の消防車を高台に配備し、原子炉注水の多重性と多様性を向上させた。消防  
車の操作は、免許を有する社員が行う。そして、定期的な操作訓練を課している。
- ◇ 大気中への放射性物質の拡散のおそれを想定し、放水砲と送水車を配備している。
- ◇ フィルターベントを設置し、事故時に原子炉格納容器からの大気放出量を避難不  
要なレベルまで低減させている。

最後に、平成 19 年 7 月 16 に発生した新潟県中越沖地震の概要とその時の経験を踏まえ  
ての各種訓練の様子が紹介された。

#### 4. サイト内の視察：



- ◇ サービスホール館内
  - ・ BWR 原子炉格納容器内のカット模型
  - ・ 制御棒駆動装置のカット模型
  - ・ サイト全景模型
  - ・ 燃料集合体実物模型
  - ・ 従来型 BWR と改良型 BWR の建屋配置の違い
  - ・ 地層処分に関する科学的特性マップとガラス固化体模型
  - ・ 従来型 BWR と改良型 BWR の原子炉格納容器の模型
  - ・ 制御棒模型
  
- ◇ バスの中から敷地内安全対策施設を見学
  - ・ セメントを敷き詰めた防火帯
  - ・ 免振重要棟
  - ・ 防潮堤、防潮壁、防潮板
  - ・ 消防車
  - ・ ガスタービン発電機車、電源車
  - ・ 送水車、砲水砲
  - ・ 淡水貯水池
  
- ◇ 6号機ギャラリーを見学ー
  - ・ 窓越しに燃料交換フローアー
  - ・ フィルターベント
  - ・ 水密扉

- ◇ 7号機管理区域内の重要施設を見学—
  - ・制御棒駆動装置(原子炉格納容器外)
  - ・RCIC(原子炉格納容器外)
  - ・主蒸気隔離弁(原子炉格納容器内)
  - ・SRV(原子炉格納容器内)
  - ・高圧タービン(タービン建屋)

## 5. 学生との質疑応答

東電から直接話が聞けるチャンスであることから文系の学生との質疑応答を優先し時間の関係から理系の学生の質問は後日メール回答とすることとした。

まず、シニア各人から自己紹介を行った。早瀬シニア、宮川シニアは当原発での勤務経験者である。その後、学生が質問を出し、大半を小池部長が回答を行なった。



- (女子学生)      ウラン鉱山からウランをどのようにして日本へ運ぶのか。  
 回答              ウランの日本への輸送は、海外で気体状のUF<sub>6</sub>をシリンダーに封じ込めたものを運び入れる。鉄製の内の天然ウランのほとんど問題とならない。
- (女子学生)      燃料ペレットとはどんなものか。  
 回答              ウラン-235を3~5%に濃縮したウラン酸化物の粉末を焼き固めたもので、何かの入れ物に詰め込んだものではない。
- (女子学生)      原子力発電は火力よりコストが掛かると聞いているが、経済性が良いとの話であるがその理由は。  
 回答              再処理コスト、放射性廃棄物処分コスト、廃炉コスト等の全てのコスト

を積み上げての感度解析を行った結果の評価である。一番の要因は燃料費が安いことである。

(女子学生) 水力発電が旨くいかない理由は何か。

回答 ほとんど、国内では開発が終了しているため。

(女子学生) 3.11 事故後、被害者の色々な感情はメディアで知ることができるが、原発で実際に働いていた人たちの気持ちはどうなのか。

回答 一番つらい目にあったのは、家族を含め東電社員ではないかと思う。福島復興なしには、この国の繁栄はないとの思いで、安定した電気の供給に使命を掛けている。電力会社社員の DNA である。

(女子学生) 東日本では原子力発電が動かないのは国民感情が理由か。

回答 柏崎刈羽 6、7 号機、東海 2 号機は原子力規制委員会の安全審査の合格はもらっているが、地元了解が進んでいない。ステップバイステップの歩みが必要ではないか。なお、国民感情としては原発停止で電気料金のコストアップになっているが、なんとか生活はやっていけるというのが本音ではないか。反対する場合は、感情論ではなく対案を出して欲しいと考える。

(男子学生) 原発を即時廃止せよというわけではないが、将来他のエネルギー源が確立したら切り替えるべきと考える。ところで、事故レベル 7 という評価は正しいのか。放射線量の再検証を行う必要はないのか。

回答 調査検証すれば、レベル 7 にはならないのではないかと。原子力村に対する国民感情からそのようなレベルとなったのが実情ではないか。言い逃れに聞こえるかも知れないが、避難・防災は電力の業務ではない。電力の業務は自治体の情報を提供することである。

(男子学生) 原発の経済性に関し、国から地域に補助金が提供されているが、この補助金はコストに含まれているのか。

回答 電源別コスト比較には、含まれていない。柏崎市の場合で言えば、予算収入の約 15% が補助金である。

(男子学生) 地元合意の中で補助金は重要なポイントである。補助金をコスト評価に取り入れるべきではないか。

回答 発言の趣旨は理解するが、政策コストは別カウントとして扱われている。

(男子学生) 地層処分に関しての科学的特性マップは、自治体の反応が重要である。埋めて良いと手を挙げた自治体はあるのか。

回答 マップの発表から概要調査に入っても良いと手を挙げた自治体は未だない。まず、国民に地層処分の事を理解して欲しいとの思いから、国は各地の住民との対話活動に入っている。

(男子学生) 原発の 60 年延長を認めても、2040 年以降原子力発電は減少する。とても 22% のキープは難しいと思うが、電力会社としての方針を聞きたい。

回答 質問の趣旨は良くわかる。

(男子学生) 原子力の将来を考えずに電力自由化や FIT 制度を進めた国がどう考えて

いるかが知りたい。

回答 電力会社として、一日も早く再稼働を達成し、その後の安全運転に努めることが使命である。資源エネルギー庁は、しっかりとしたエネルギー政策を策定する義務がある。また、国民もエネルギー問題を自分の問題として捉えて欲しい。

(男子学生) 左側の人達は、地元ではないのに原子力反対を唱え、それをマスコミが煽る実態がある。それに対して、どう思うか。

回答 国の将来を考えずに、原子力のみを悪者にする。ただ、原発を止めることを目的に運動している。まともに対応する必要ないと思っている。

(女子学生) 海への放水口ではどのような魚が取れるのか。

回答 まるで、竜宮城である。大げさに言えば、日本海の全ての魚が取れる。

## 6. シニアの感想：

### 大野シニア

例年、関東複数大学の対話会は学会の学生連絡会の学生とシニアネットワーク連絡会との間で実施されている。その対話方法については単に知識提供でなく学生からの要望を取り入れ、一昨年は実社会におけるシニアの経験を踏まえたキャリアパスの話、昨年からは施設見学の要望が出され、浜岡見学に続いて今年は東電柏崎刈羽発電所の見学を実施した。

学生側世話役三島理愛さん(前連絡会会長)のご努力下、東京大学、東京工業大学、東京女子大学、青山学院大学、駒沢大学、茨城大学、東京都市大学、浪人生の文系、理系の混成チーム 18名の学生が参加し、にぎやかな見学会となった。

反省点としては、見学後の質疑応答に十分な時間が取れず、シニア、学生双方に不満が残った点で、施設見学を伴う理解促進活動ではその目的を達成するために後泊についても検討してみたい。

### 早瀬シニア

- ◇ 安全向上諸対策の範囲の広さと規模の大きさが実感できた。
- ◇ 放射線管理区域内に案内したことは、学生にとって貴重な体験となった。
- ◇ 質疑応答で、学生の意見、疑問をもっと聞きたかった。

### 岡本シニア

柏崎刈羽原発の現況について内容豊富な資料による説明を受け、また展示館内の原子炉模型などの説明があり、18人の学生の中に理解のほどに違いがあったと思われる。

柏崎刈羽原発の構内および管理区域を見学するにつれて、尽力しておられる東電や関係企業の奮闘ぶりを伺うことが、シニア共々できたようだ。原子力規制委員会による新規規制基準の適合性審査を昨年12月に終えて、4年余りかかった原子炉設置変更申請が許可となったことは喜ばしいことで、次の段階の工事計画や保安規定の認可を経てスムーズに再稼働申請へと続くことを期待しています。地元住民への説明や了解を得ることについては、これからも大きな仕事となることが理解できました。

見学後の対話会では、文系の学生からの質問が主となり、理系の学生にとっては管理区

域の見学と比べて物足りなかったのではと感じた。懇親会での交流は有意義と思ったこと  
でしょう。

#### 宮川シニア

平成 30 年 11 月 10 日に実施された柏崎刈羽原発の見学は、私自身、3.11 の事故処理  
中の東電福島第一、福島第二原子力発電所以外に初めて見た原子力発電所でした。いろ  
いろな情報は得ていましたが、屋外に大きな冷却水貯槽を設置し、そこから原子炉に冷  
却水を送るポンプ車、ホースの展張車、更に電源車を何台も配備した現場を初めて見学  
しました。

6 号機の ABWR の内部見学に先立ち、事故時の原子炉格納容器の加圧防止のためのフィ  
ルターベントの設置工事の現場、さらに原子炉建屋の中では、「止める」機能の制御棒駆  
動機構の水圧ユニット、原子炉格納容器の中では、「閉じ込める」機能の主蒸気隔離弁等  
を学生たちと見学しました。

見学後の東電からの説明や質疑では、福島に暮らしていた家族も 3.11 の事故の被害者  
であった複雑な事業者の気持ちが溢れる話が続いたが、参加した学生の皆さんには、机  
上ではない当時の体験の生の声に感じるものは少なくなかったのではと思います。

望むならば、学生個々との質疑対応となり、学生からの声は多く聞けなかった点に改  
善の余地がありそうです。初めに全ての学生から質問や要望を出して頂いて、その上で、  
補足説明や回答をする進捗が良かったと感じました。

それにしても、土曜日で現場作業がほとんどない状況の中ではありましたが、整然と  
案内し丁寧な説明をして頂いた東電の皆さんに感謝いたします。

帰りの電車の中や長岡での夕食の場で、5 名の学生といろいろ話を聞きましたが、皆、  
原子力の有用性を認めていました。彼らも原子力発電所の福一からの教訓に現場がどう  
取り組んでいるか具体的に理解を深めてくれたようです。

私事で恐縮ですが、今、中学校で放射線の出前授業をやっている私にとって、中学校  
の生徒や先生方とのこれからの対話にとっても勉強になりました。

このような企画はとても重要に感じました。継続されることを強く希望いたします。

また、参加できたことにお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

#### 大塔シニア

質疑応答の場では学生さん達が原子力に対して日頃抱いている思いの本音を小池様に  
ぶつけ、小池様も真正面からそれを受け止め回答する姿を見ていると、学生さん達も本  
当に貴重な機会を経験したのではないかと感じた次第です。

6、7 号機の模型や実物を見せて頂き、若い頃福島第一原発 1 号機の試運転で研修を受  
けていた状況を思い出し、改良された設備の違いに驚きを禁じ得ませんでした。

新規制基準に合格した 6、7 号機が地元了解を得て一日も早く再稼働することを願いな  
がら帰りのバスに乗り込みました。

小池様、小林様ら皆様の温かく真摯なご対応に心から感謝する次第です。本当に有難  
うございました。

以上

関東複数大学対話会・柏崎刈羽原発見学会事後アンケート結果

(平成30年11月10日開催)

纏め： 岡本 弘信

\* 参加者18名 (回答数18)

学生区分と男女別

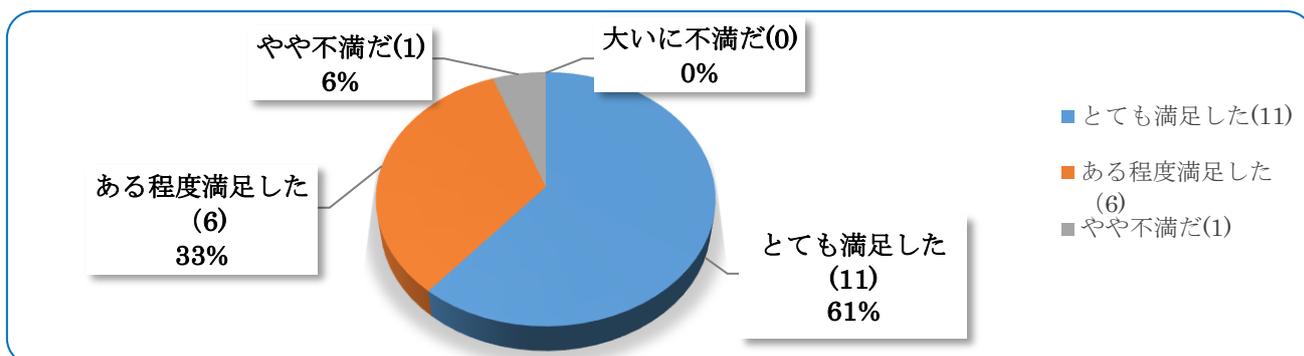
	男性	女性	男・女未記入	計
学部0年	1			1
学部1年	1	1		2
学部2年	1			1
学部3年	1	2	2	5
学部4年	3			3
修士1年			3	3
修士2年	1			1
修士未記入	1			1
博士2年		1		1
計	9	4	5	18

専攻と就職希望先

専攻	電力	原子力関連 メーカー	メーカー	研究機関	教育機関	進学原子 力系分野
理系原子力		3	2*	2*		3*
理系非原子 力						
文系教育系	1					
文系その他			1			
その他						1

文系その他の就職先未定7、理系非原子力の進学先その他分野1、\*については複数記入を計数。

(問1) 講義の内容は満足のいくものでしたか?その理由は?



### 【 とても満足した 】

- ① 1 Fの大きな問題である原子炉について、実際に柏崎刈羽原発の原子炉を見て原子炉はこういうものだと知ることができました。
- ② 写真などがあってわかり易かった。
- ③ 中をかなり見学することができた。
- ④ 無知の私たちに丁寧に教えてくださったから。
- ⑤ 今まで原子力に係ったことのない文系女子にも大変わかりやすく簡単な言葉で説明してくださったからです。
- ⑥ 分からないことをたくさん知ることができた。新たな視野を持つことができました。
- ⑦ 僕たちが一番簡単にアクセスしやすいであろう報道といったものと違った原発に対しての意見を聞けたから。
- ⑧ 3. 11の時に東電の方がどのような思いで働いていたかが実感できた。
- ⑨ 原子力発電を運転するメリットがよくわかった。ただデメリットも少しは聞いたかった。
- ⑩ 経験に基づく知見は、やはりテキスト上のものよりはるかに説得力がある。講義では聞けない話が聞けて良かった。

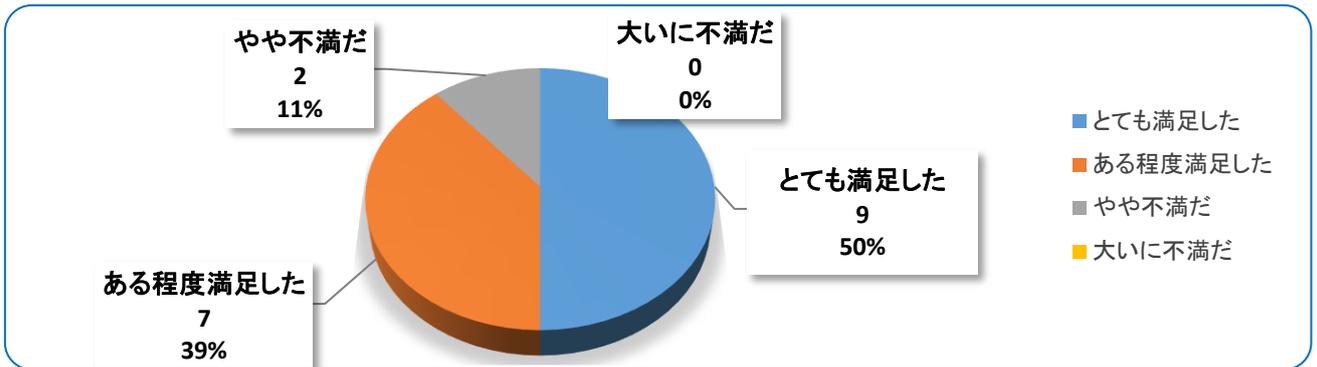
### 【 ある程度満足した 】

- ① 実態を少しでも知られたことが良かった。
- ② 大学の講義でよく耳にする内容ばかりであったが、長年勤めてきた裏話が聞けたのは面白かった。

### 【 やや不満だ 】

- ① 足早に進んだので。

(問2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



**【とても満足した】**

- ①メディアでは取り上げてくれない重要な部分を知れたから。
- ② 理解できないことをすべて教えてくださいました。
- ③ もっと質問をしたかった。
- ④ 聞きたいことが聞けたのと、電力会社の社員の方の使命感がよく分かった。

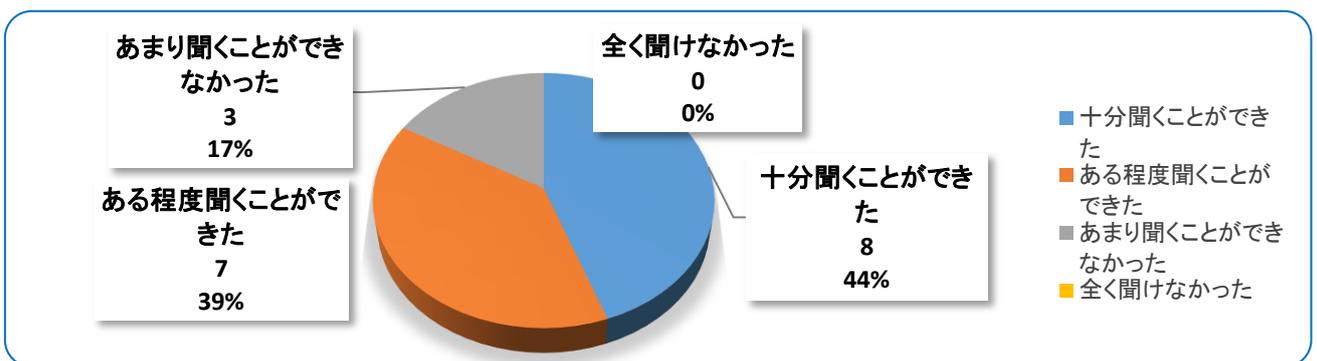
**【ある程度満足した】**

- ①質問時間を適宜取っていただいて良かった。
- ②時間がかなりとってあったから。
- ③とてもわかりやすかったが、様々な知識をお持ちの方がいらっしゃるのでもっと自由に形式ばらずに話し合う機会にしても良かったのではと感じた。
- ④熱い思いがあつてのこのイベントだと分かった。
- ⑤現場の声などを知ることができた。
- ⑥柏崎刈羽原発の再稼働の現状は理解できた。しかし会話中に感情的になるのは良くないと思った。
- ⑦7 シニアの方は激論は非常に有益だった。

**【やや不満だ】**

- ①時間がない。
- ②学生の質問に対して簡潔に述べてほしい。

**(問3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか?**



**【十分に聞くことができた】**

- ①文系には少し難しかったけれど、分かりやすく説明して頂いて良かった。
- ②文系優先で質問を聞いてくださったから。
- ③あまり事前に質問は考えてなかったが、講演や見学で出た質問は聞くことができた。

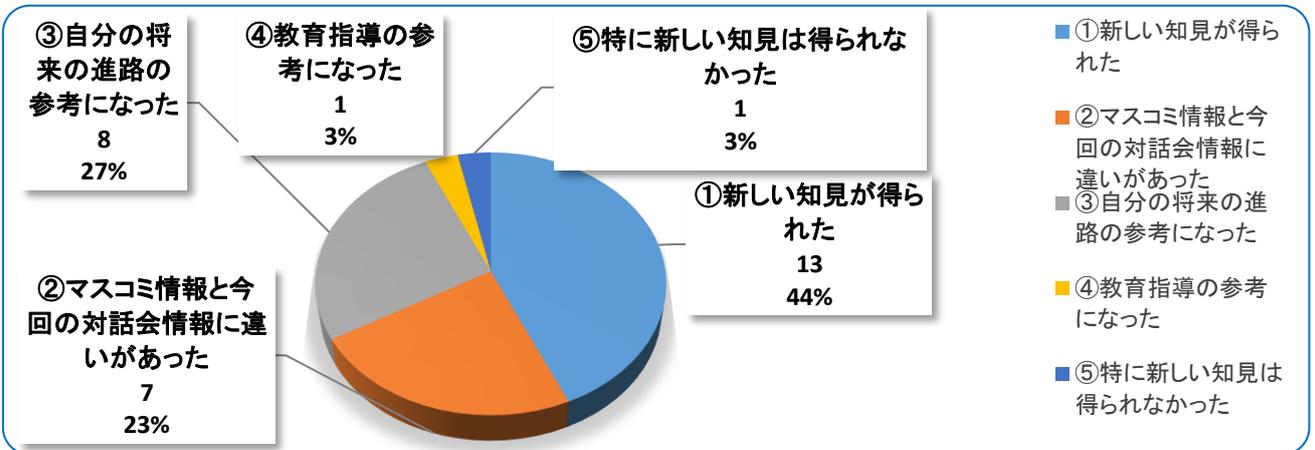
**【ある程度聞くことができた】**

- ①国民と研究者との理解の解離が最大の問題と思いました。
- ②先日の火災について聞きたかった。

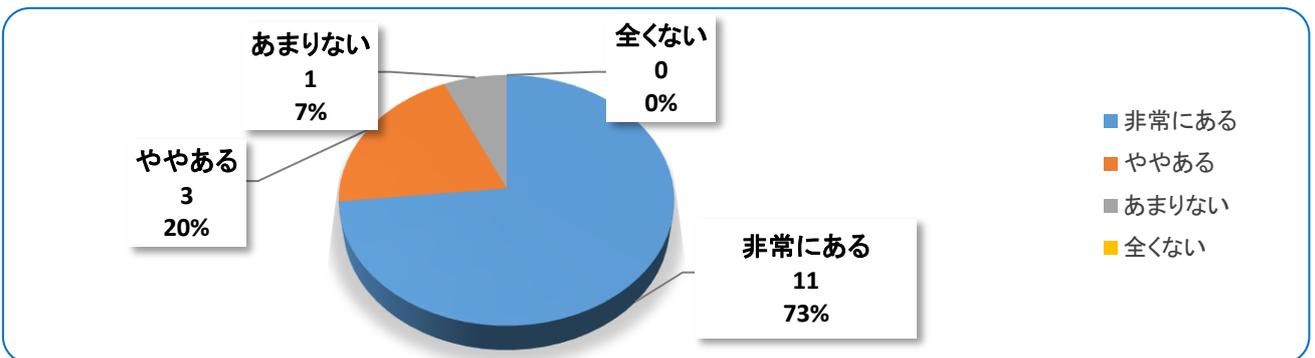
**【あまり聞けなかった】**

- ① もともとあまり知識を持っていなかったの。

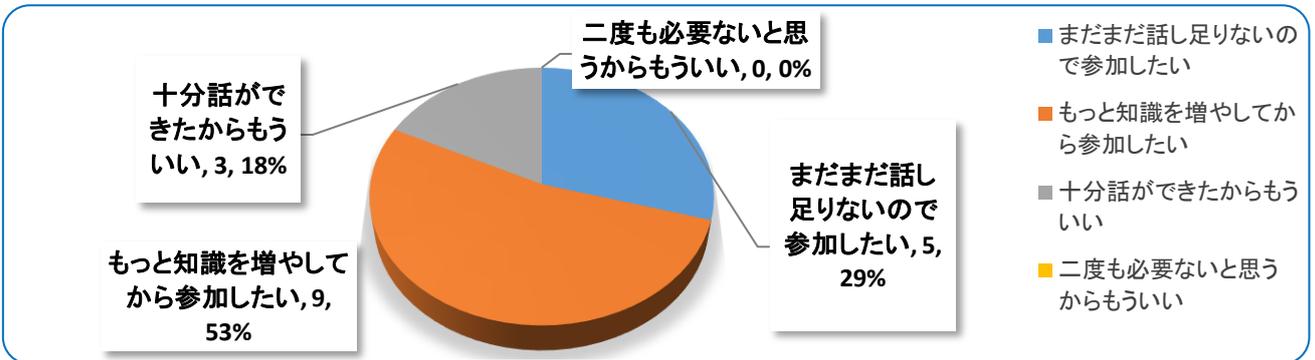
**(問4) 今回の対話で得られたことは何ですか?(複数回答可)**



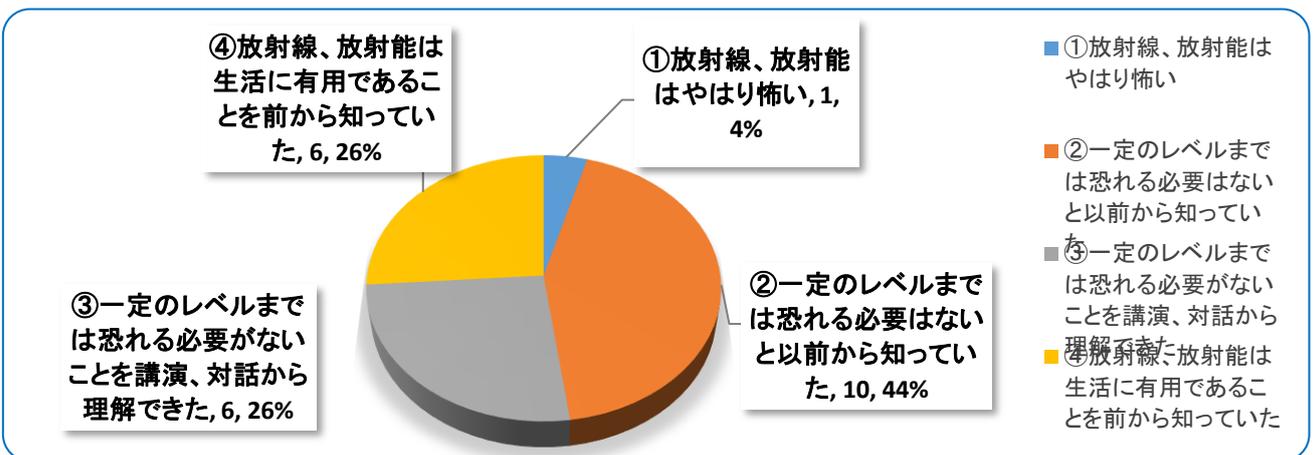
**(問5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか?その理由は?**



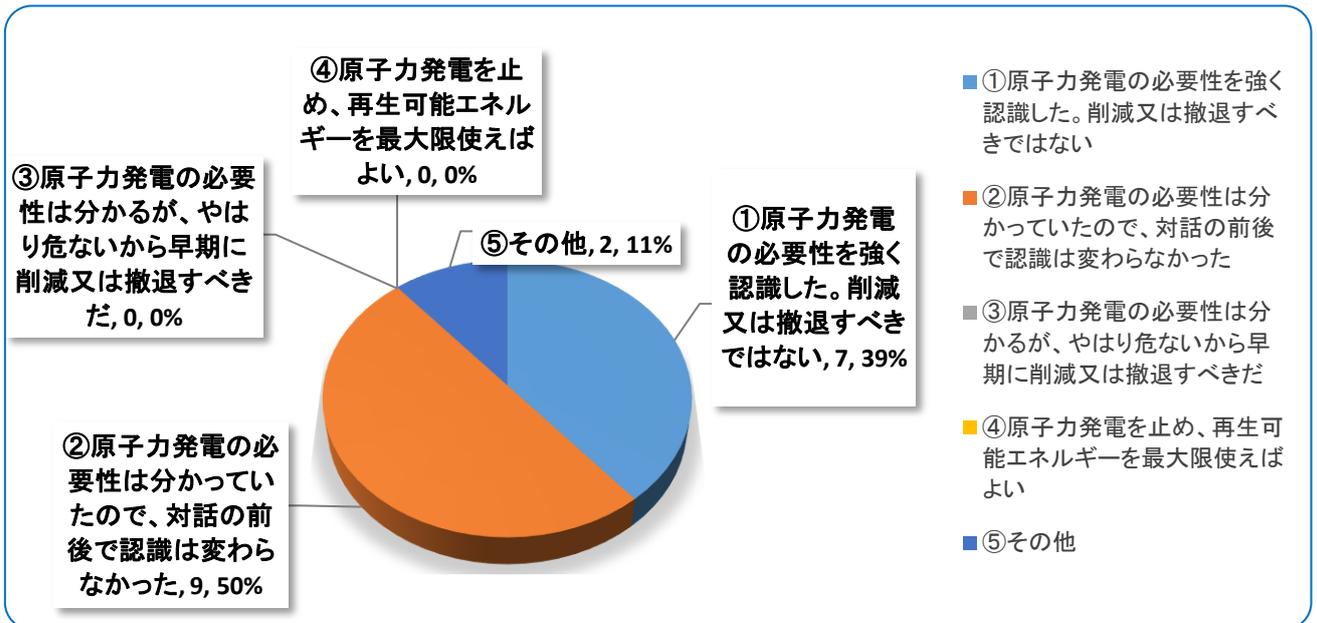
(問 6) 今後機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？



(問 7) 放射線、放射能に対してのどのようなイメージをもっていますか？(複数回答可)



(問 8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を機関電力(2030年に発電電力量の20~22%)とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？(複数回答可)



#### 【原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきではない】

- ①環境面でも経済面でも原子力より良いものはないと思います。また、私たちが今後なすべきことは原子力発電をなくすことではなく、原子力発電の安全性を限りなく100%に近い状態にする技術を開発・研究することだと思うからです。
- ②原子力発電の良い部分は、テレビや新聞では報道されにくかったので、今日聞けて良い経験になりました。やはり原子力発電は必要だと感じました。
- ③3.11の影響を受けて、防波堤など非常の時の対応をぬかりなく準備していることが分かったから。
- ④まだ今日学んだだけなので考えが浅いのですが、日本の未来などいろいろ考えて原発を使うことが良いのだろうと感じました。
- ⑤原子力が必要なのは明らかでした。
- ⑥安全対策が強くされているのが分かった。

#### 【原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった】

- ①ただ自分の家の近くにあるのとないと、どちらかといえない方がいいので、周辺で住んでいない人よりも少なからずリスクを背負う周辺住民の理解を得るのは大変だし、得なければならないと感じる。
- ②以前から原発に対するマスコミ、世間の考え方には疑問を持っており。少し調べただけだが、原発の必要性は分かっていた。だが、メリット、デメリットを全部理解しているわけではないので、しっかり考えていきたい。

#### 【その他】

- ①しばらく続けて新たなエネルギー開発に投資する。

②原子力発電の必要性を強く認識したが、風力発電の欠点について知らないので、風力発電に可能性があるのであればどちらも生かせると思います。

**(問9) 本企画を通して全体の感想・意見があれば自由に書いてください。**

①原子力発電の仕組みや構造を直接見せていただけたことは、自分の人生の中で大変貴重な体験になりました。大学で原子力を学びたいと思っていたので、モチベーションが上がりました。

②参加できてよかったです。

③政治の話はあまりしない方がいいと思うが、気持ちはとても伝わった。政治問題になっていることが最大の問題なのかもしれない。頑張ってください。

④よく分からない原子力発電所が非難されていて、漠然と危険なものだと思っていましたが、国民に電力を安全に届ける一心で仕事をしている人たちが、非常事態のときの対応をぬかりなく準備していることを知って、誤解だったと思いました。メディアの情報をうのみにするのではなく、自分で理解し、自分自身の意見を持つことの重要性を感じました。

⑤自分が聞きたい質問を全て丁寧に答えてくださったので、理系の方にあまり質問時間を設けられず申し訳なく思いました。しかし、今まで全く知らなかったことについて学ぶことができ、一国民として全く無関係ではないと感じました。今後は他人事ではなく、新聞を読めると思います。マスコミ、国民の重要性が認識できました。時間をとって下さり。文系女子にも丁寧にわかりやすく教えて下さり、とても感謝しております。このチャンスを無駄にしないよう、行動を起したいです。

⑥原発について、東電についてとてもよく知ることができました。実際に声を聞くということの大切さを実感しました。今まで少し原発に対して怖い印象を持っていましたが、一方で何も知らずにそのような印象を持っていたことを恥ずかしく思います。原発の仕組みを大まかに理解できたことはとてもうれしく思います。3.11からまだ10年もたっていません。大きな事故ただけにその代償は大きいと思いますが、まだこれからだと思います。日本がもっと賢く、優しくなれるように、私も日本の若者の一人としてもっと賢くなろうと思います。

⑦私には正しいとか間違っているとかはわからないが、東電の人の本音や現場の意見が聞けてとても面白かった。また原発問題を他人事には思わず。自分なりに考えることが大切だと感じた。

⑧技術的な詳しいことはわからないけど、国民の考えをしっかりとみて少しずつ対応していくしかないと感じた。文系である自分はそこをどう解決できるかを考えられるといいと思う。災害は避けられないものだけど、確かな安全性は必要だと思うので、そこは引き続き絶対的といえる安全性を電力会社側には維持してほしい。電力に対する強い想いが聞けて良かったです。

⑨とても面白く為になる企画でした。たまたま友人からこの企画を知って参加したのですが、もっと周知されればもっと人が来ると思いました。

⑩福島事故後の東京電力社員の心情を聞いて心を打たれることが多かった。今回文系の方が多くいたため基本的な質問が多かった。

⑪討論がシニアの方で一杯だったので、もっと学生に話をさせてほしかったです。しかしいい機会でした。

⑫今回管理区域まで見学でき、社員の方、シニアの方から、知識だけでなく貴重な熱い想いを聴くことができ、非常に得難い経験をすることができました。今日のために準備をして下さって、対応してくださったシニア、社員の皆様、本日は本当にありがとうございました。やはり見学会と対話会のセットはとても良い刺激になります。